

真室川音頭で町をPR



真室川町では、全国にその名が知られている「真室川音頭」を活用して町の知名度アップを目指す事業（真室川音頭発信事業）を行っています。今年度は、「真室川音頭」に縁のある上方の人気落語家・桂吉弥さんのまむろがわ大使就任及び広報活動と町のゆるキャラうめ子ちゃんによるイベント参加などを行い、今後いろいろな事業で「真室川音頭」をキーワードにして発信し、町の知名度を全国的にアピールします。

この事業を展開することになったことの発端は、『桂吉弥さんが「真室川音頭」を出囃子に使用していること』を知った町職員が、吉弥さんのホームページに出した1通のメールからでした。

「吉弥師匠がなぜ「真室川音頭」を出囃子にお選びになったか興味があり、お聞きしたいと思ったんです。」

それに対して、吉弥さんが快く回答してくださり交流が始まりました。この交流を通じて吉弥さんに『一度、真室川町に行ってみたい』との思いが生まれ、昨年9月に初めて来町していただくことができました。

そして、今年、この縁を通じて、吉弥さんから真室川町を全国にPRする『まむろがわ大使』に就任していただくことになり、9月23日に、イベントホール遊楽館でまむろがわ大使就任式と落語会が開催されました。町長から委嘱状を手渡された吉弥さんは、「真室川町は、ほんと素敵なおとこだなぁと思います。私、出囃子は必ず真室川音頭なんです、日本中、世界中に真室川音頭を勧めて、聞いていただきます。宣伝させてもらってがんばっていきます。これからもよろしくお願いします。」と抱負を語っていただきました。

落語会では、真室川音頭の出囃子で登場した吉弥さん。さっそく、大使として真室川音頭を歌った後、「ちりとてちゃん」「はてなの茶碗」の2席を披露してくださいました。軽妙な語り口と豊かな表現力で、会場は笑の渦に包まれました。

このほか、音頭保存会の皆さんによる真室川音頭の披露とともに、うめ子ちゃんの着ぐるみが初登場しました。かわいらしく愛嬌をふりましながら手を振って皆さんの声援に応えるうめ子ちゃん。これから、さまざまなイベントで登場し、真室川をアピールする活躍に要チェックです。

吉弥さんは、昨年の来町以降、落語本編の前に語る「枕」で出囃子の「真室川音頭」に触れ、自然あふれる町の様子を伝えてくださっています。就任前から活発に町のPR活動をしていただいていることに、吉弥さんのお人柄の良さと真室川への熱い思いが感じられます。

これから、まむろがわ大使としての活躍と、町の知名度アップが期待されます。

桂吉弥さんプロフィール

出身地 大阪府茨木市

経歴

平成6年 故 桂吉朝に入門
大阪・太融寺「吉朝学習塾」にて初舞台

この頃、落語家にとっての必須科目である太鼓の稽古に通い、「真室川音頭」と出会い、口ずさめるほどになった。また、師匠からの勧めもあり、太鼓を打ってみたりして、心に残る曲となった。

平成9年 ABCお笑い新人グランプリ審査員特別賞受賞
平成16年 NHK大河ドラマ「新選組！」に山崎丞役で出演
平成17年 なにわ芸術祭新人賞 受賞
咲くやこの花賞 受賞
平成19年 NHK連続テレビ小説「ちりとてちん」に徒然亭草原役で出演
平成20年 第三回繁昌亭大賞 受賞
文化庁芸術祭新人賞 受賞
NHKテレビ「生活笑百科」に隔週レギュラー出演
平成23年 「真室川音頭」を出囃子として使い始める。

三味線のお師匠さんが、「吉弥さんの好きな曲で、新たに出囃子を作ろうよ。」と言ってくれたのがきっかけ。

平成24年 真室川町に表敬訪問
平成25年 まむろがわ大使に就任

就任披露落語会で真室川音頭を熱唱。大使としての意気込みを語る。



落語会で会場を大笑いさせた桂吉弥さん



大使としての活躍をアピール

うめ子ちゃんプロフィール

分類 梅の花の精

いつの頃からか真室川にやってきて、鮮やかな四季とおいしい水や食べ物に出会い、居付いてしまった。

年齢 不詳

子どものような顔立ちをしている。年はとらないらしい。

性別 女性

特徴

頭が梅の花の形をしている。一重の愛らしい目と薄い唇、薄く桃色に染まった頬であどけない表情を見せてくれる。鼻はない。美肌の持ち主。美肌の秘訣は、まむろ川温泉「梅里苑」に通っているおかげとのこと。

得意なこと

歌も踊りもスポーツも何でもこなせる。特に「真室川音頭」が得意。踊りもなかなかのもの。

好きな料理

真室川のお母さん方が作るいろいろな郷土料理が大好き。真室川ブランド認定品（現在32品目が認定）は、うめ子ちゃんがイチオシのものばかり。

趣味 つり

溪流つりの腕前は一級品で、真室川町の奥地に棲む大イワナと対決したこともあるとか。

※町のイメージキャラクターに選ばれる(平成11年)

